

## 第9期（2025年度）第3回創発セミナー報告 第9期 研究助成贈呈式

大隅基礎科学創成財団は2025年12月15日午後3時から東京科学大学すずかけ台キャンパスで第9期研究助成贈呈式を行いました。基礎科学（一般）分野10名、同酵母分野3名の計13名の研究者に大隅良典理事長から贈呈書が手渡されました。



大隅基礎科学創成財団 第9期 研究助成贈呈式

東京科学大学すずかけ台キャンパス会場にて

午後4時からはハイブリッド形式で創発セミナーを開催しました。冒頭の挨拶で、大隅理事長がこの財団は大きな原資を持っておらず、様々な形で寄せられた寄付によって支えられていること、また第9期より基礎科学一般で少額の応募枠を増設したため多くの応募者があったこと、厳正な審査の結果、今回の13名が選ばれたことなどを述べました。

続いて、基礎科学（一般）の吉田賢右選考委員長が「年々応募者が増加しており、15名の審査員による厳正な審査が行われた。また、基礎研究の性質上、提案されたプロジェクトがそのまま実現するとは限らないが、この助成金が研究の発展の礎になることを期待する」と助成者を激励しました。

さらに酵母分野の松浦彰選考委員長からは「34件の応募があり、新しい生理現象を発見した研究者や、それを追求する研究者を選定した」との報告がありました。

続いて木村宏 東京科学大学 総合研究院 教授を講師にした創発セミナー（別途報告）と13名の研究助成採択者からそれぞれ助成への謝辞を交えた自己紹介と研究テーマの簡潔な説明がありました。セミナー後には懇親会があり、午後8時に一連の行事を終えました。

公益財団法人 大隅基礎科学創成財団  
理事 大谷 清

第9期（2025年度）第3回創発セミナー講演

### 「遺伝子の発現とその調節を観て理解する」

東京科学大学 総合研究院 教授  
大隅基礎科学創成財団 評議員 木村 宏 氏

#### ■講演要旨■

生物のからだを構成する細胞はどれも同じ遺伝情報（DNAの塩基配列）を持っていますが、様々な種類の細胞ができるのは、使われる（発現する）遺伝子が異なるからです。遺伝子の発現にはDNAからRNAへの転写が必要ですが、この転写の様子やそれを制御するクロマチン構造の動態を生きた細胞で可視化できるようになってきました。最新技術を用いて明らかになってきた成果を紹介します。

講演内容は財団のYouTubeをご覧ください。

動画 URL: <https://youtu.be/d6NKTDOmx3U>

#### ■木村宏氏の略歴■

1996年3月 理学博士（北海道大学）

1996年6月 オックスフォード大学 サーウィリアムダン病理学部 博士研究員

2002年2月 東京医科歯科大学 難治疾患研究所 助教授

2003年8月 京都大学大学院医学研究科 先端領域融合医学研究機構 特任教授

2007年10月 大阪大学 大学院生命機能研究科 准教授

2014年7月 東京工業大学 生命理工学研究科 教授

2017年4月 東京工業大学 科学創成研究院 教授

2024年10月 東京科学大学 総合研究院 教授（現職）

以上